



神輿が収容できる広い空間を確保するため、テクノストラクチャー工法が採用された馬場自治会館

馬場自治会館

BAMBA RESIDENTS' HALL

自治会員の寄附金を元に建てられた 地域交流と地域防災の拠点

岩槻街道沿いにある北区滝野川地区には馬を乗り継ぐための馬場が設けられていた。大正10年、この地の馬場組合と地域住民による馬場町会が統合されて現在の馬場自治会に至る。このたび、昭和49年に建てられた自治会館の老朽化に伴い、自治会員の寄付と区の助成金により新しく自治会館が建設されることとなった。計画にあたっては、地域の防災拠点として耐震性と耐火性を最優先。また、ここが地域の祭礼時に神輿が休憩する神酒所^{みきしよ}となるため、神輿が格納できる広い間取りと開口部が求められた。

「木造でありながら、これらの条件を満たす構造形式を検討したが、最終的に行き着いたのがテクノストラクチャー工法だった」と設計・施工を担った株式会社坂爪建築事務所社長の坂爪啓一氏。「近隣住民が末永く、安心して快適に使えるように採用したこの工法で、耐震等級3と耐風等級2が実現。1階会議室は神輿などを保管するために“がらんどろ”にする必要があったが、耐力壁が必要な箇所に門形の『Mフレーム』を配置することによって実現できた」と語る。現在は、自治会行事や祭礼・葬祭、会員の趣味の場に加え、次世代の食育を支援する子供食堂など、地域の交流拠点として活用されている。

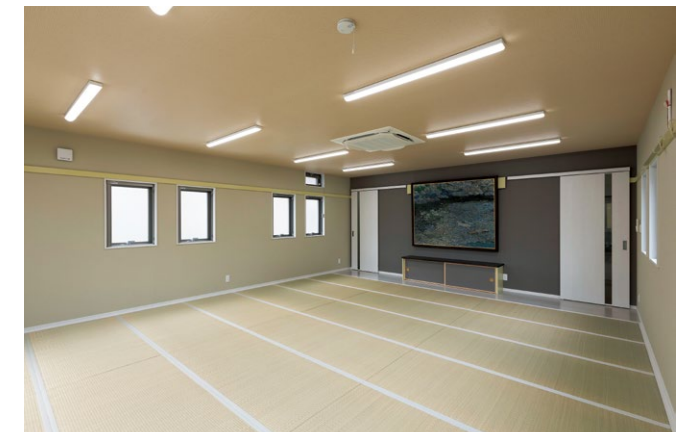


馬場自治会館

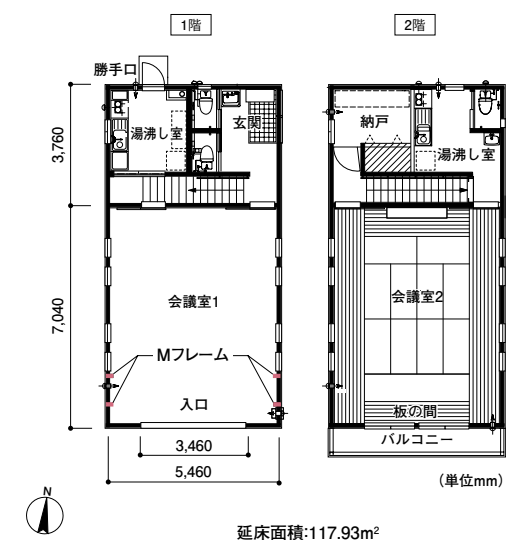
所在地／東京都北区滝野川
建築主／馬場自治会
設計・施工／株式会社坂爪建築事務所
竣工／2018年5月
構造形式／木造（テクノストラクチャー工法）



木造でありながら広い開口部を実現した「Mフレーム」（入口のグリーン柱部）



多目的利用が可能な量数きの2階



主な設備

- 一体型LEDベースライト iDシリーズ